

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成22年9月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670101908号
法人名	財団法人 慈愛会
事業所名	グループホーム 愛と結の街
所在地	鹿児島県鹿児島市小原町9-28 (電話)099-267-0533
自己評価作成日	平成22年6月1日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kagoshima-kaigonet.com/
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成22年7月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域との交流～運営推進会議、地域行事(秋の作品展・おひさま保育園餅つき大会)、女性学級、消防訓練、町内会加入、実習生受け入れなど地域行事・交流を積極的に行っている。

研修参加～ケアマネ・介護福祉士など受験資格を有する者は積極的に受験している。22年度は介護福祉士1名合格している。内部・外部研修にも積極的に参加している。

活力ある環境作り～利用者の楽しみの一つとしてウッドデッキを活用して、畑に季節の野菜を植えている。

併設の老健の理学療法士 作業療法士 言語聴覚士 歯科衛生士などより必要時、評価 助言をもらっている。

野菜販売～毎週木曜日、利用者・職員と一緒に老健にて野菜販売を実施している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは母体法人が運営する医療機関を中心に「愛と結の街」の関連事業所を含む敷地の一角に位置し、交通の便も良く、生活しやすい環境にある。協力医療機関との連携も確立し、また、職員研修の充実も図り、利用者、家族の安心、安全の生活支援を実践している。職員の大半は有資格者で、各々が委員会に属し、非常勤者も夏祭りや敬老会など催しの担当係りとして、運営に関わり、生き生きと働いている。町内会加入、女性学級参加、週1回の野菜販売、ちまきを近隣に配布するなど、公益活動、地域支援にも力を発揮している。利用者、家族、職員参加型の、内容の濃い法人内新聞「愛と結の街」を発行している。職員のチームワークも良く、利用者や家族の思いを尊重し、地域の中でその人らしく安心して暮らすことができるよう、一緒に支え合う関係を築いている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
. 理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ホームの理念はスタッフルームにも掲示されており、毎朝の朝礼で唱和することで、理念を理解し実現しようと日頃より努力している。	独自の理念を玄関、スタッフルームに掲げ、朝礼で一分間スピーチ後、唱和している。職員会議の中でも理念の共有や理解の意識付けを図っている。毎年理念とは別の年間目標を作成し、職員は目標を持って日々の業務にあたっている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会へ加入している。校区の婦人学級に利用者と一緒に参加し、交流を深めている。また、消防訓練やお月見会など、地域の方への参加を呼びかけている。	町内会に加入し、地域の文化祭や、月1回の地区女性学級に参加している。ホーム主催の夏祭りやお月見会には地域からの参加もある。近くの保育園児との交流や中学生、介護福祉士、看護学生の体験学習の受け入れも行っている。毎週木曜日に野菜の販売をしたり、ちまきを作って近隣に配布する等地域との交流を大切にしている。	
3		事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	ネットワークを活用し、地域の方の困りごとや、相談に応じている。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月おきに運営推進会議を設けている。検討事項などは、経過をスタッフカンファレンスで意見を出し合い、サービス向上に努めている。	町内会長、民生委員、第三者委員、家族代表、包括支援センター職員、法人の事務長、医師、看護師長など大勢の参加をもらい定期的開催できている。報告や話し合いの場になっている。内容はスタッフカンファレンスで報告し、サービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>市の相談員の方には訪問してもらっているが、判断に困った時に電話で相談する程度である。</p>	<p>介護相談員や市担当者とは困難事例の相談やアドバイスを貰っている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>運営者・全てのスタッフが身体拘束を理解し、しないケアに取り組んでいる。日中は居室・玄関に鍵はかけていない。</p>	<p>法人で年1回全員参加の研修をもって。身体拘束廃止委員会の研修も月1回あり、職員は知識を共有し、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。職員の見守りを重視し、日中は玄関の鍵はかけずに自由な暮らしを支援している。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ケアを通じて話し合い、内部・外部研修へ参加することで、正しく理解し防止している。また、スタッフはストレスを溜めないよう、長期休暇を取っている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>個人で学んだり、研修に参加して学んでいる。必要なスタッフへは、資料を渡し活用できるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>定期カンファレンスや、面会時、不安や疑問点を尋ねその都度、理解・納得していただけるよう説明している。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>不安や困りごとがある時はスタッフと2人の時間を設けて、聞き出せるよう配慮している。家族とは、面会や家族会を通して意見交換している。</p>	<p>面会時や運営推進会議以外に家族会を年3回、又、家族とのカンファレンスを入居3週、3ヵ月、6ヵ月と持ち、現状報告や情報、意見を貰っている。「愛と結の街」新聞には家族、利用者の声を掲載するなど運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に一度スタッフカンファレンスを行い話し合いや、意見交換している。</p>	<p>1階2階合同で月1回職員会議をおこなっている。共通のノートを活用し、利用者についての気づき、オムツ使用についての意見等職員全員が情報を共有、ケアの向上に活かしている。管理者は職員が何でも言える職場環境を作っている。長期休暇によりストレス軽減を図っている。</p>	
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>マニュアルに沿って働きやすい職場環境で業務遂行している。交互に有給休暇が取れるように勤務調整を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月、施設内研修に参加している。外部研修に参加したスタッフは、伝達講習まで行い他スタッフへ伝えることで情報の共有を図る。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>谷山地区の勉強会に交代で参加し意見交換を行ったり、グループホーム連絡協議会に加入し、研修での交流を図るなどサービスの質の向上を目指した取り組みをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居者の情報をいち早く理解し、思いや要望をよく聞き、また表情などから気持ちを把握し個々の意向に添えるよう支援している。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の思い・要望を理解し、入居者の日々の生活を安心して提供できるように協力し合いながら支援を行っている。定期的にある家族会などで意見交換の時間も設けられている。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>サービス利用開始時は、暫定プランを作成し、初期カンファレンス後介護計画を作成している。見直しは6ヶ月毎だが、状況の変化があればその時点で臨機応変な対応をとっている。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>週1回の野菜販売を行ったり、料理や、畑での野菜作り等、得意分野を發揮してもらおう工夫をしている。職員は、入居者と支え合う関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>月ごとに行われる外出レクリエーションへの参加や、面会時に入居者の様子を報告するなど家族と情報を共有しながら、入居者のケアに努めている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>入居前にホームの見学を行って貰い、他入居者や、場の雰囲気にならぬよう配慮している。居室に馴染みのある家具や仏壇を置くなどして、落ち着いて生活出来るように工夫している。</p>	<p>利用者は職員と共に野菜販売をし、デイサービスを利用していた頃の友人、知人、地域住民との交流がある。家族との絆を強くする手段として理美容院、墓参り等は家族の方に同伴してもらう事を大切にしている。老健との交流や面会もあり、利用者も手紙や年賀状を出し、関係継続の支援を図っている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者の個々のレベルに合わせてレクリエーションや、調理、野菜販売など出来ることを一緒に行いながら楽しみを持てるように支援している。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用 契約 が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院などで退所となった場合でも居室費を払えば一ヶ月間は部屋を借りていることが出来る。家族との情報交換などを行い今後の行き先を考えたりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>家族からの情報や、利用者との日々の生活の中で、会話や表情から個々の気持ちを察し、本人の希望や意向を重視した支援を行っている。</p>	<p>言動、表情から意向の把握に努め活かしている。利用者同士の会話の中から汲み取る努力もしている。話をじっくり聞いて、思いや意向をできるだけかなえられるように検討している。</p>	
24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>6ヶ月毎のカンファや定期的にスタッフで、個々の利用者にとっての環境、支援状況、サービスのあり方についても話し合う事で、これまでの暮らしの把握に努めている。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>申し送り、記録等常に目を通し変化や様子を把握している。スタッフ間で定期的に話し合い、現状の把握に努めている。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>必要な関係者と話し合い、意見交換をし連携をはかっている。本人、家族の意向を聞きながら、ケアカンファレンスで個々の現状に応じた介護計画を作成している。</p>	<p>日々の状況を把握し毎月、モニタリングや評価を行っている。3ヶ月～6ヶ月ごとに家族参加のカンファレンスを実施、本人家族の意向を聞いて職員、関係者が意見を出し合い現状に即した介護計画を作成している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別に記録しており、日々の様子や出来事、実践、結果と個々の特徴や変化を具体的に記録している。職員間での情報共有しながら、実践、介護計画の見直しを行っている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>日々のケア状況把握し、家族と話し合いながら、リハビリパンツ購入時、家族の負担軽減につながるよう支援している。ホーム内での散髪サービスも行っている。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の女性学級に参加し、本人の得意分野で力を発揮出来る機会をつくったり、地域の方々と一緒に消防訓練を行い、安全で安心な生活が出来るよう支援している。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医は施設長、認知症専門医として、家族の納得の上、本人の話を聞きながら毎月1回診療を行っている。他病院受診は、家族の希望により、受診支援している。</p>	<p>家族が納得したかかりつけ医になっている。協力医は月に1回内科検診している。変化があれば家族に報告している。協力医以外の受診は紹介状を持参し、家族同伴で支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>利用者の変化に気づいた時は、看護師に連絡、相談し、情報の共有をはかる事により、適切な受診や看護を受けられるよう支援している。夜間は老健の看護師と連絡取り、連携をはかっている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入退院時は、入院する前の状況や病歴等情報の提供をしたり、早期退院に向けて、情報交換や相談、今後の方針等家族の意向を聞きながら、病院関係者と連絡を取り合っている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時や必要な事が起こった時点でその都度、家族と重度化・終末期のあり方について話し合っている。職員はいつでもそのようなことが起こりうるとして、家族、医師、看護師と情報共有、相談等に努めている。</p>	<p>医療連携、看取りのできる体制を作っている。重度化や終末期における指針も作成し、ホーム内で対応し得る最大ケア限度についてその都度、説明している。家族、医師、看護師、職員も共有している。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救急法の研修会を年2回実施しており、職員は必ず参加し習得できる様に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>緊急通報システムを整備し、避難経路・避難場所の確認を行うと共に、地域の方々にも協力をもらいながら年2回防災訓練を行っている。</p>	<p>年2回、昼間想定 of 訓練を行っている。法人の施設とは協力体制が構築されている。スプリンクラーも設置している。</p>	<p>夜間想定、地震訓練も兼ねた自主訓練、実施を期待する。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー保護について、勉強会で取り上げ、徹底が図られている。個人記録などは、職員のみ入室できる部屋で管理されている。職員は利用者にプライバシーを損ねるような声かけはしていない。	法人で接遇、プライバシー、個人情報保護の研修、勉強会を開催している。わかりやすい言葉かけ、利用者が返事しやすい質問の仕方など職員間で話し合い、お互いに気をつけて注意している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	散歩や入浴など声かけを行い、本人の希望に添える様に対応している。野菜販売時に欲しい果物がある際には購入出来る様に支援している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	掃除や調理時に業務優先になりがちな時は、職員間で声かけしフォローしながら、入居者のペースに合わせた支援を行うよう心がけている。起床や食事の時間・散歩・外出等希望に合わせた支援を行っている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	外出時にはおしゃれ着の準備を行ったり、本人や家族の希望時には散髪が行えるよう支援し対応している。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の個々のレベルに合わせて、野菜の下ごしらえ、食事の盛り付け・配膳・下膳・食器洗いなど出来る事を一緒に行いながら食事を楽しくめるよう支援している。誕生会では本人の好みの物を把握し対応している。	利用者に好みのものを聞いてメニューを考え、食事を楽しくめるように支援している。外食も年1～2回実施している。梅干、ラッキョウ漬、ちまきづくりを利用者に教えてもらいながら一緒に作っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分摂取状況を把握し食事形態も工夫している。法人の栄養士にアドバイスをもらいながら栄養バランスに配慮している。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後声かけにて口腔ケアを行える様支援しており、痛みや噛み合わせの問題等みられた際には法人の歯科衛生士に観察・アドバイスをもらい対応している。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>尿測を行い排尿量を確認し、適切な尿取りパットの使用を職員間でも話し合い、家族の了承のもと使用している。本人への声かけも自尊心を傷つけない様に配慮している。</p>	<p>排尿チェック表を作成し、身体状況や個々のパターンを考えながら声掛け誘導している。排尿、排便の有無の確認に注意している。利用者の自立排尿に向けた支援を行っている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎食の食材に繊維質を含んだ野菜、果物など活用しスムーズな便通に配慮している。散歩や体操など積極的に行っている。困難な場合はマッサージや下剤服用など取りいれている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入居者自身のペースでゆったりとした入浴をしていただいている。(週3日)くつろいだ入浴支援や個々の希望を優先し無理強いはしないようにしている。	週3回は入浴出来るよう支援している。できるだけ本人の希望に沿った支援を心がけている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼間の臥床は出来るだけ短く、就寝前は団らんを設けて、安心、安眠、安息、に配慮している。夜眠れない方には安眠策(昼寝や活動支援)を行っている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方された投薬の説明書はカルテに綴じていつでも確認できる。個々の服薬管理入れがあり明示されている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者に合わせた出番を見いだす為に過去の職業や趣味を生かした役割支援など、配慮している。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	必要物品や食材等好みの買い物に出る機会を日常的に作り支援している。又、毎月外出レクリエーション等計画し楽しんでもらっている。家族同伴での外出や地域の行事参加も行っている。	外出計画を作り、月1回は外出、ドライブを楽しんでいる。家族との絆を深める手段として美容院、墓参り、外食などは家族に同行もらっている。地域の女性学級には職員と共に利用者も参加し、楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居者の能力や希望に応じてお金を持っている事の喜びと安心感を大切に支援しながら買い物に行く事もある。家族からの預り金は各人毎の出納簿で管理している。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>グループホーム1階に公衆電話が設置してあり、いつでも電話が、かけられるように支援している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>庭、ベランダ、畑などに季節の花や野菜など植えられ家庭的な雰囲気作りの配慮行えている。ホール（食堂）には入居者手作りの壁面飾りが毎月飾られ、生活感や季節感取り入れている。</p>	<p>明るく広いリビング、畳スペースもあり、リビングから直接、広いウッドデッキに出られ開放感のある眺望のいい空間になっている。廊下にもソファがあり、利用者が自由に居心地よく過ごせるよう配慮している。ユニット間では利用者が新聞を届けたり、野菜を持って行ったりと自由に往来できる環境にある。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用スペースには、ソファなど置かれ、本を読んだり、又、入居者同志気軽に、会話楽しんでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	思い出の品、家族の写真やメッセージカード等を掲示したりしている。	テレビ、時計、テーブル、ソファ、家族の写真、飾り物が持ち込まれ利用者の個性あふれる居室になっている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	生活リハビリ（炊事・洗濯・掃除）を通しての自主支援に向けて声かけ及び見守りなど行いながら環境整備している。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1	ほぼ全ての利用者の
		2	利用者の2/3くらいの
		3	利用者の1/3くらいの
		4	ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1	毎日ある
		2	数日に1回程度ある
		3	たまにある
		4	ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36,37)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	1	ほぼ全ての家族と
		2	家族の2/3くらいと
		3	家族の1/3くらいと
		4	ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1	ほぼ毎日のように
		2	数日に1回程度ある
		3	たまに
		4	ほとんどない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1 大いに増えている
		2 少しずつ増えている
		3 あまり増えていない
		4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11,12)	1 ほぼ全ての職員が
		2 職員の2/3くらいが
		3 職員の1/3くらいが
		4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1 ほぼ全ての利用者が
		2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1 ほぼ全ての家族等が
		2 家族等の2/3くらいが
		3 家族等の1/3くらいが
		4 ほとんどいない